

遺物出土状況からみた竪穴住居の埋没過程

の復元—福島県井出上ノ原遺跡 45 号住居跡を
対象に—

小林謙一・大網信良・納美保子・平原信崇

1. 本研究の概要

本研究は、縄紋時代中期後葉の福島県井出上ノ原遺跡 45 号住居跡を対象に、竪穴住居覆土の埋没過程復元を試みるものである。比較的安定したレンズ状堆積をみせる覆土は、層位毎の出土土器型式と AMS 年代測定値により堆積順に一定の時間的傾斜が認められた一方で、土器の接合状況から平面だけでなく層位をこえた垂直方向の土器の移動が確認された。詳細な遺物出土位置の検討から、覆土の形成要因および遺物の層位間移動の要因を考察する。

2. 井出上ノ原遺跡について

井出上ノ原遺跡は、福島県双葉郡楮葉町大字井出上ノ原地区内に所在する縄紋時代中期後葉の集落跡である。遺跡は、南北を井出川と木戸川に挟まれた標高約 42m の洪積台地上に立地し、東方には太平洋が広がる。

分析対象となる 45 号住居跡は、長軸 8.2m×短軸 7.4m のやや縦長の円形プラン内に、長軸 3・8m の複式炉を配し、炉内には大木 9 式新段階の深鉢形土器が埋設される。

なお、調査経過や成果等については、小林謙一・大網信良・大野尚子・井出上ノ原遺跡研究グループ「福島県井出上ノ原遺跡の研究」(2008『日本考古学協会第 74 回総会発表要旨』)に詳しいのでご参照願いたい。

3. 45 号住居跡の覆土形成過程

(1) 大別層位の形成過程

本住居址覆土は、上層(暗褐色土)・中層(黒褐色土)・下層(黄褐色土)の 3 層に明瞭に大別され、複式炉上を窪みの中心として全体にレンズ状の堆積が認められた。中・上層は土量に比して出土遺物量が多く、特に中層では炭化物を非常に多く含有するという特徴をもつ。また両層の間から焼土跡が検出されていることから、中層堆積時に何らかの土地利用がなされていた可能性が窺われる。一方で下層はソフトロームを主体と

する堅く締った土で、出土土器の型式もほぼ大木 9 式

新段階にまとまることから、住居跡廃絶後に比較的短期間で埋没したことが推測される。なお下層の由来については、他遺跡の事例を参照すると、土屋根あるいは周堤を埋め戻した土壌である可能性が高い。ここから 45 号住居跡の覆土形成過程は、人為によって短期間で下層が堆積した後、中長期にわたる二次的な窪地利用を経て自然営力で中・上層が堆積し、埋没が完了したと考えられる。ただし、住居跡南端に綱取Ⅱ式期の土器埋設遺構が上層より掘り込まれていることから、窪地利用の期間は綱取Ⅱ式期以前に限定される。

(2) 層位間の遺物の動きについて

45 号住居跡の覆土形成過程は大木 9 式期のように把握できるが、埋没中あるいは完了後に層位間で遺物が移動していた現象を確認している。これは遺物の出土位置と帰属層位を記録したことで明らかになった事実である。

まず土器については、大木 9 式期に比定される土器片が、各層にわたって接合・同一関係を示している現象が挙げられる。破片が集中する住居跡中央西部を原位置とすると、最も重量の重い口縁部破片が住居跡中央東端まで移動していることになり、また重量が重い土器片が集中する下層を原位置とすると、接合資料も含めたその他の土器片が層位をまたいで上方へ垂直移動していることになる。

次に出土炭化物の AMS 炭素 14 年代測定値についてである。上・中層は概ね大木 10 式期までに年代が集中し、覆土形成過程での想定と歩を一にするデータが得られているが、住居址廃絶後に短期間で埋没したと考えられる下層や住居跡施設覆土においては、新旧が混在する測定値となっている。

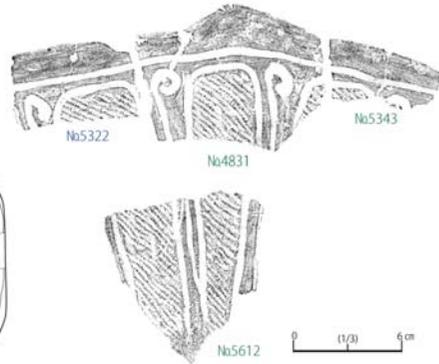
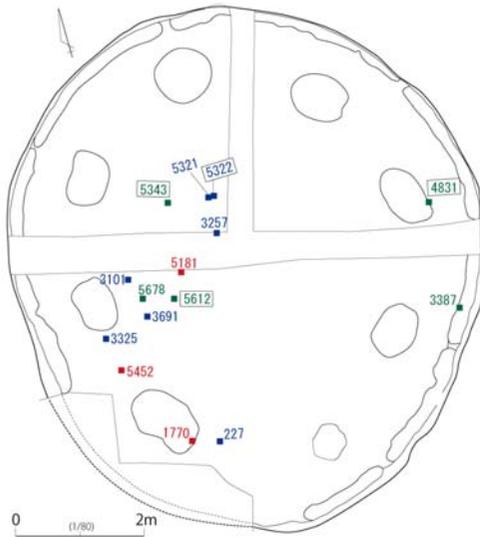
(株)パリオ・サーヴェイ社による土壌分析結果によれば、本住居跡覆土は全体に根による攪乱が発達しているとされ、ここから遺物の移動の直接的な要因が指摘される。これは調査時の肉眼観察では捉えるのが難しい次元の現象であるが、遺物の綿密な出土状況記録

や年代測定資料の増加から、攪乱の程度に接近することが可能であることを確認した。

4. まとめ

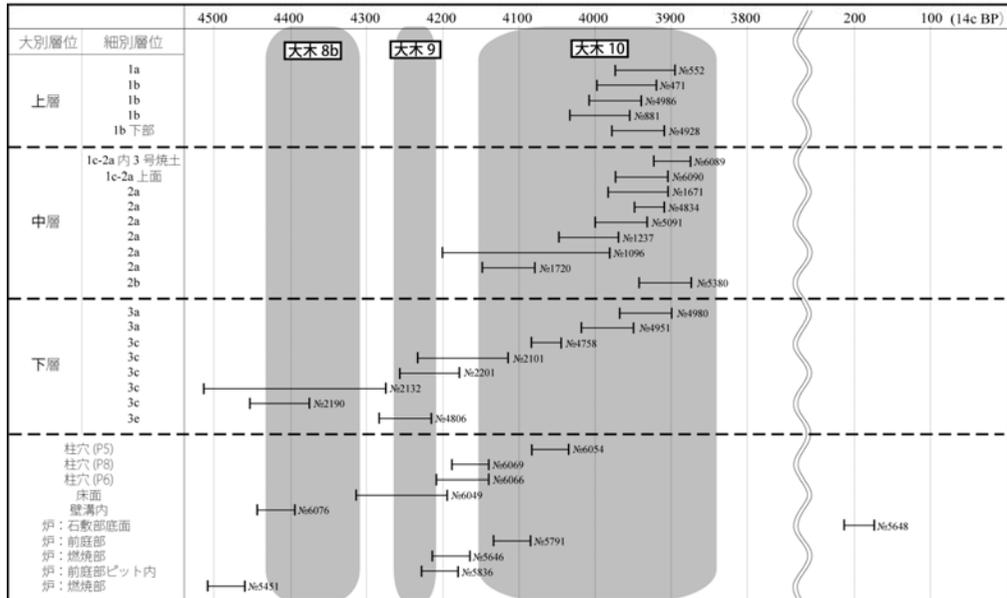
今回検討した 45 号住居跡では、視覚的に比較的単

純な形成過程が想定されるものの、実際には目に見えない微細な遺物の動きが多数起こっていたことが確認された。今後ともこの種の事例を蓄積していき、覆土形成過程の理論化や層位的事実の再検討等を進めていきたい。



遺物No	出土層位	重量	遺物No	出土層位	重量
No.3101	1a層	21g	No.5181	2a層	19.3g
No.3257	1a層	24.1g	No.5452	2c層	5.8g
No.3325	1a層	13.6g	No.4831	3a層	88.5g
No.3691	1b層	6.7g	No.5343	3a層	22g
No.227	1c層	17.4g	No.5612	3b層	79.6g
No.5321	1c層	14.6g	No.5678	3b層	25.4g
No.5322	1c層	21.7g	No.3387	3c層	15.5g
No.1770	2a・b層	6.3g			

土器接合状況



45号住居跡 年代測定結果